



試 験 報 告 書

株式会社 ふじもと組 殿
岡山県津山市加茂町塔中77-1

試験品内容： [種 別] JIS A 5308:2019 附属書A「レディーミストコンクリート用骨材」
JIS A 5005:2020「コンクリート用砕石及び砕砂」
粗骨材 コンクリート用砕石 2005 A (岩質：安山岩)
[大 き さ] 20～5mm
[採 取 日] 2023年11月6日
[産 地] 岡山県津山市加茂町知和
[採 取 場 所] ストックヤード
[製 造 業 者] (株)ふじもと組

試 験 項 目： 1.骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法) ✓

受領日(試料持込日)： 2023年 11月 10日

試 験 日： 2023年 11月 10日 ～ 2024年 5月 22日

試 験 結 果： 次頁以降のとおり

特 記 事 項： —

試験実施場所：一般財団法人 日本品質保証機構 関西試験センター 試験室

- (注) 1.上記試験品は、試験申込者により試験実施場所へ持ち込まれたものである。
2.試験品内容等については、試験申込者提出の試験申込書に基づき表記したものである。
3.試験結果は当該試験品に対する結果であり、製品すべてを保証するものではありません。

試験の結果は、上記のとおりであることを報告します。

2024年 5月 24日

大阪府東大阪市水走3丁目8番19号
一般財団法人 日本品質保証機構
関西試験センター

所 長 佐野 弘明

技術管理者 那良 時義

この試験報告書の転載、一部分の複製をするときは、事前に当機構の承認を受けてください。
尚、報告書には改ざん防止策を施しています。

一般財団法人 日本品質保証機構



1. 骨材のアルカリシリカ反応性試験 (モルタルバー法)

(1)試験方法 JIS A 1146:2022「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。
 ・粒度調整した代表試料の粒度分布 : 粒度区分A
 ・湿度95%以上を確保した手段 : 吸取紙による被覆及び容器底面の水張り

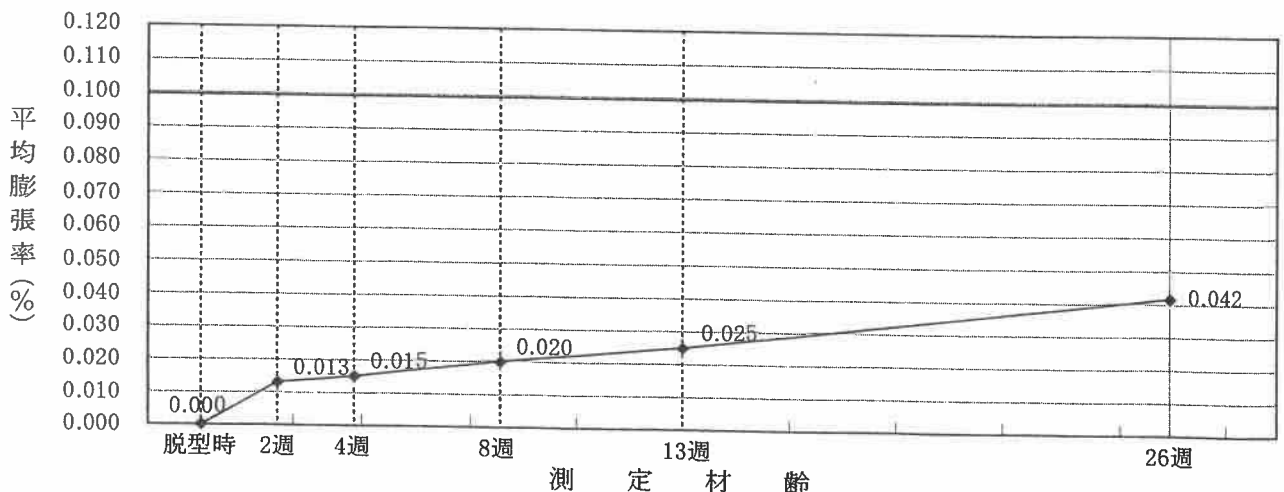
(2)使用したセメント ・種別 : 普通ポルトランドセメント
 ・販売会社名 : 一般社団法人 セメント協会
 ・酸化ナトリウム(Na₂O) 0.27 %
 ・酸化カリウム(K₂O) 0.38 %
 ・全アルカリ量(R₂O) 0.52 %
 ・水酸化ナトリウム水溶液を加えた後のセメントの全アルカリ量 : 1.2 %

(3)判定基準 骨材のアルカリシリカ反応性の判定は、供試体3本の平均膨張率が、測定材齢26週で0.100%未満の場合は、「無害」とし、0.100%以上の場合は「無害でない」とする。

[備考] なお、測定材齢13週で0.050%以上の膨張を示した場合は、その時点で、「無害でない」としてもよい。測定材齢13週で0.050%未満のものは、その時点で、「無害」と判定してはならず、測定材齢26週まで試験を続けた後に判定しなければならない。

(4)試験結果

膨張率 (%)	測定材齢	脱型時	2週	4週	8週	13週	26週	判定
	試験No.							
	1	—	0.013	0.015	0.021	0.025	0.043	無害 ✓
	2	—	0.013	0.014	0.021	0.026	0.043	
	3	—	0.013	0.015	0.019	0.023	0.039	
	平均	0.000	0.013	0.015	0.020	0.025	0.042	
外観観察		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	



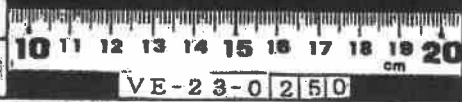


試験番号	VE-23-0250追1
受付日	2023年 8月31日
報告日	2024年 4月 3日

骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法) 報告書

大阪府吹田市藤白台5丁目8番1号
 一般財団法人 日本建築総合試験所
 試験研究センター
 センター長
 報告書発行責任者
 材料試験室長
 山本 篤史

依頼者	会社名	日本冶金工業株式会社 大江山製造所
	所在地	京都府宮津市宇須津413
試験実施期間		2023年9月27日 ~ 2024年3月27日
試験材料	種類*	フェロニッケルスラグ FNS1.2(ナスサンド)
	産地*	京都府宮津市宇須津413
	採取場所*	日本冶金工業株式会社 大江山製造所
	採取日*	2023年8月29日
	採取者*	宮津海陸運輸株式会社 坂根 隼
	工事名*	_____
備考		2023年8月31日に当センターへ搬入された。



セメントの全アルカリ 酸化カリウム(K₂O): 0.38%、酸化ナトリウム(Na₂O): 0.27%、全アルカリ(Na₂Oeq): 0.52%

試験方法 「JIS A 1146:2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」とし、相対湿度 95%以上を確保した方法は、吸取紙による被覆とした。モルタルの配合は「JIS A 5011-2:2016 コンクリート用スラグ骨材-第2部:フェロニッケルスラグ骨材 6.4 アルカリシリカ反応性試験」によった。なお、試験は当センター 本部 コンクリート実験室にて行った。

試験結果	供試体番号	膨張率 (%)					判定
		2週	4週	8週	13週	26週	
	1	0.008	0.011	0.013	0.013	0.015	無 害
	2	0.008	0.009	0.011	0.011	0.012	
	3	0.008	0.012	0.013	0.013	0.014	
	平均膨張率	0.008	0.011	0.012	0.012	0.014	

平均膨張率と材齢の関係を図-1に、試験終了時における供試体の状況を写真-1に示す。

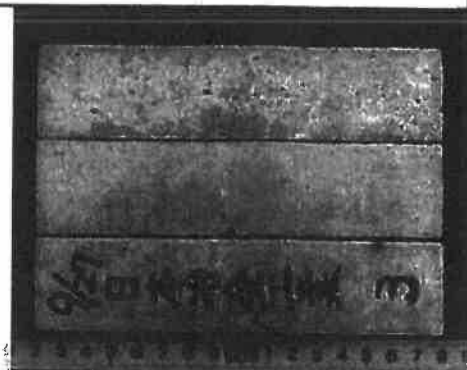
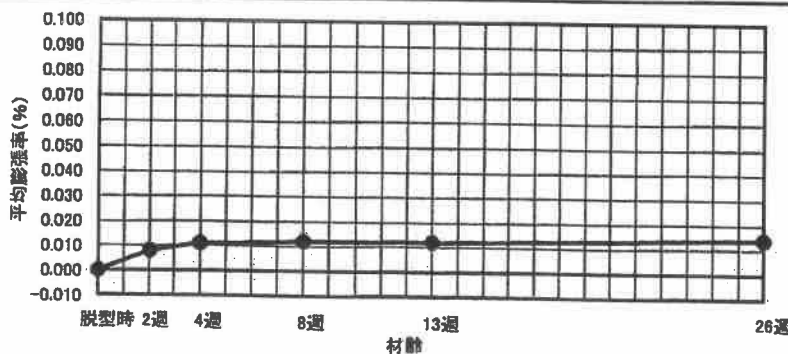


写真-1 供試体の状況(試験終了時)

担 当 材料部 材料試験室 試験責任者 澁井 雄斗、試験担当者 丹羽 大地

*:試験依頼者の情報による。